

# 豊川小だより

1月号

豊川小ホームページ

<https://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/toyokawa/index.htm>

令和6年1月9日  
北区立豊川小学校  
校長 中村 順子

## 「やり抜く力」を身に付ける年に

校長 中村 順子

ホームページ

QRコード



元日早々に飛び込んできた能登半島地震の知らせには驚きました。数年前に奥能登を旅行した際に、海と山に囲まれた、黒い瓦屋根が美しい集落の風景に感嘆したことを思い出し、被災された皆様のご心痛はいかばかりかと拝察しております。心よりお見舞い申し上げます。今後しばらく、現地の皆様に心を寄せていきたいと思うばかりです。

\*

さて、2024年、令和6年は十干で甲、十二支では辰にあたるため、甲辰（きのえたつ）の年になります。甲とは「甲乙丙…」の始まりであり、物事の始まりと捉えることができ、「辰」は発芽した植物がしっかりと形になる、勢いと大きな力がみなぎるという意味をもつそうです。古くから、この二つが合わさる「甲辰」は、新しいことを始めて成功する、すなわち今まで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられています。

皆様にとって、今年がよりよい年になりますことをお祈り申し上げます。

\*

年末に、東京都立志村学園の副校長先生の講演を聴く機会がありました。志村学園の高等部には「就業技術科」があります。流通・サービス系列の「流通・都市農園芸サービスコース」「ビルメンテナンスコース」、家政・福祉系列の「食品加工コース」「介護・コミュニケーションコース」の4つから、生徒が自分でコースを選び学んでいくことを通して、卒業後に即戦力として社会に貢献できる人材を育成しています。

その志村学園では、『GRIT（グリット・やり抜く力）』を培う教育を行っているそうです。副校長先生からは、

Guts：度胸（困難に立ち向かう力）

Resilience：復元力（失敗しても立ち直る力）

Initiative：自発性（自分で目標を見据える力）

Tenacity：執念（最後までやり遂げる力）

の頭文字でもあるこの「GRIT」は、生まれもった才能・知識には関係がなく、本人の姿勢で習得できる能力であり、社会人として求められるものであると伺いました。

昨今子供たちを取り巻く環境には、ともすれば大人が先にフォローに入ってしまうことで、子供たちを試行錯誤やつまずきから回避させてしまう傾向があるように思えてなりません。失敗をさせないのではなく、失敗を見守り、立ち直る方向性を示唆することで、「GRIT」、すなわち「やり抜く力」を育てることができるのではないのでしょうか。

新しい年を迎え、豊川小学校の子供たちが、さらに「やり抜く力」を身に付けることができる年になるように、教職員一同、今年も教育活動を進めてまいります。

\*

令和6年は、今後4年間にわたるリノベーション工事開始の年になります。新年度からは、長期間に及ぶ工事がいよいよ始まります。このリノベーション工事は、豊島地区の子供たちが今後よりよい環境で学校生活を送るために欠かせないものであると認識しています。一方、在籍している児童には、多くの負担が生じてしまうことも承知しています。詳しくは1月に行われる、地域や保護者の方を対象とした区の建築担当主催の「意見交換会」でお知らせをすることになりますが、関係機関と細かく調整をしながら、子供たちの教育活動を止めることなく円滑に行うことができるように尽力してまいります。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。